

館林柚海 はなうみ 漢詩人。文久二年十一月二日陸奥國生れ、昭和十七年十一月二十四日歿（八三—九四）。講稿、字子漸、通稱萬平。別號拙存園。上京して國漢門、重野成齋に修學十餘年。次で臺北、支那に赴き、章炳麟等に學ぶ。日本大學教授、大東文化學院教授歴任。藝文社顧問。

著書に『口上佐台記釋義』（明治二十九年二月二十九日、のち改題『口上佐台記講義』第八版、二十六年九月一日尚樂堂・尙古堂）、『先正傳』全（一冊）（明治二十七年四月十五日臺灣・拙存園開雕、宮部勘七刊）、保田光則選『口訓戒和歌集』（校訂、大正十二年四月十五日自刊、後藤新平私版）等。